

2024年

2月号

No. 601

公民館だより ひょうたん

瓢箪町公民館キャラクター
ひょたんたん発行：瓢箪町公民館 金沢市彦三町2丁目10-5 TEL：221-1476 FAX：221-1522 編集：公民館広報部
e-mail hyouta-k@spacelan.ne.jp URL https://hyoutantan.com

令和5年度 明成校区二十歳のつどい

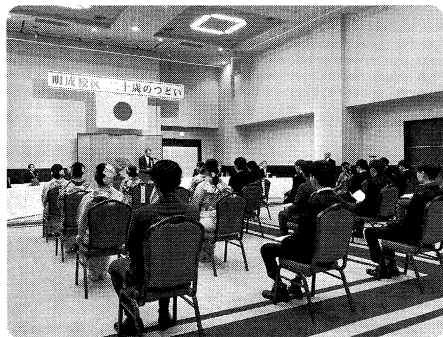


瓢箪町公民館 副館長 諸江 敏博

1月7日(日)に、ホテル金沢において令和5年度明成校区二十歳のつどいが執り行われました。今年度の校区対象者40名のうち24名が参加され、例年になく雪のない式典当日は、晴れやかな二十歳の笑顔がたくさん見られました。式典に先立ち、令和6年能登半島地震に対し、全員で黙祷を捧げました。国歌斉唱の後、市民憲章を東大智^{あづま}さんが前文を代表として読み上げ、その後全員で唱和しました。式辞では永野琢也此花町公民館長が「思いやり算」と



いう、人を笑顔にする算数を例に挙げ、「これからの社会生活の中でのコミュニケーション能力を磨き、社会に貢献できる人になって欲しい」と述べられました。その後、東美咲^{ひがし}さんが代表として記念品贈呈を受け、お祝いの言葉を金沢市長代理の坪田秀隆様から、また、来賓祝辞を中崎龍雄瓢箪地区町会連合会長よりいただきました。決議宣言は代表として伊登ゆあさんが読み上げ、瓢箪地区の二十歳代表の皆さんそれぞれがとても立派にその役をこなしており、たのもしく感じました。閉式後は、久しぶりの再会を喜びあい、話し込む姿がとても楽しそうで、これからも益々前途が明るいものであるようにと願うばかりです。

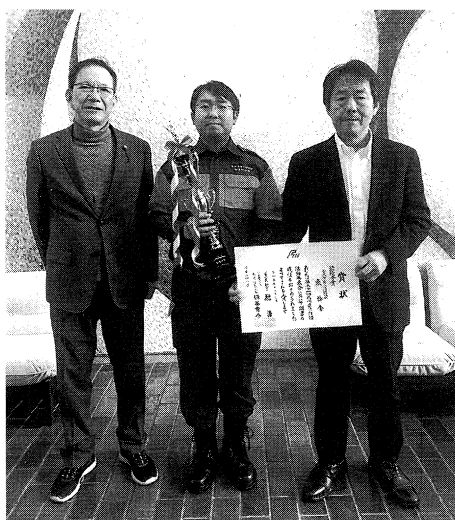


祝 二十歳

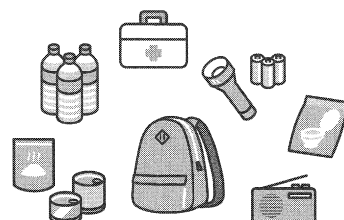


地域の防災に携わるお二人の受賞！おめでとうございます

令和5年12月3日(日)、七尾市文化ホールにて第21回石川県消防団活動発表会が開催され、金沢市第2消防団瓢箪町分団の東啓秀さん(金沢市代表)が、「この町に生きる」と題して発表をし、見事最優秀賞に選ばれました。



また、12月27日(水)、石川県庁にて令和5年度石川県自主防災組織等知事表彰式において、瓢箪地区自主防災連絡協議会会長の中川一さんが防災士表彰を受賞されました。近年は水害や地震等大きな災害が続いており、地域の安心安全、防火防災にこれからもご尽力のほどよろしくお願いいたします。



能登半島地震の被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます

瓢箪町公民館 館長 三田村 英明

令和6年能登半島地震で犠牲になられた皆様、被災された多くの皆様に心からお悔みとお見舞い申し上げます。瓢箪地区の皆様におかれましても、能登にご親戚やご友人がお住まいの方も多くいらっしゃると思います。また、金沢の地におきましても被害を受けた方がおありかと思います。未曾有の災害に襲われこの後どうして良いのか未だ不明な状況ではありますが、公民館と致しましても能登の皆様や地域の皆様と心をつなげて、出来ることは何かを考え復興に向けて力をあわせ取り組んでいきたいと考えています。すべての方々に一日も早く平穏な生活が戻ることをお祈りしております。

令和6年能登半島地震における瓢箪地区の避難活動について

瓢箪地区自主防災連絡協議会 会長 中川 一



1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に心からお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

令和6年(2024年)1月1日16時10分頃に、石川県能登地方でマグニチュード(M)7.6(暫定値)の地震が発生しました。石川県志賀町で震度7を観測した他、県内各地においても大変大きな震度や被害が発生しました。昨年8月末に瓢箪地区市民防災訓練として、M7.2の地震が発生したとの想定で訓練をしたばかりでの今回の地震の発生は、災害がいつ起こるかわからないものであり、いかに災害に対する備えが大切かを改めて考えさせられました。発生当時はいち早く小学校のグラウンドに20余名ほど避難とみられる方が集まっており、その後避難所開設へととなりました。現場は特に混乱することなく、避難者皆さんのご協力もあり、中には自主的に避難所のお手伝いをしてくださる方もいらっしゃいました。今後益々このような災害等が発生することが考えられます。現在瓢箪地区の防災士が不足しており、地域の防災士になっていただく方が増えていくことを願うばかりです。避難所開設中には瓢箪町分団をはじめ、自主防災役員、学校関係者等たくさんの方々にご協力いただきましたことに改めて感謝申し上げます。

R6.1.1 避難所開設ドキュメント

令和6年元日(月)

午後4時10分頃

午後4時20分頃

午後4時40分頃

午後7時頃

午後10時頃

1月2日(火)

翌日 夜明け

午前8時頃

午前9時

地震発生

中川自主防会長 明成小学校到着。

運動場に避難者20余人集合済み。

運動場中心部にまとまるよう指示。

建物の破損、電気、水、トイレの確認後、避難所は第二体育館とする。

順次防災役員集合し、避難者受付開始。防災倉庫より毛布搬出、配布。

公民館より備蓄飲料水、保存食、毛布搬入。

ミーティングルームを授乳室として開放。

一時帰宅される方も見え始める。

学校より湯沸かしポット、ストーブの提供があったが、ストーブに給油する灯油の準備が無く急遽地区のガソリンスタンドに手配。

そのまま宿泊する避難者が40余人となり、当直要員を中川自主防会長と堀部児童館館長とする。 夜間巡視 2回 換気。 灯油の残量確認。

順次自宅へ帰られる方が増え始める。

最終避難者が帰宅。 順次片付け開始。

避難所閉所



公民館だより「ひょうたん」600号をむかえて



館報「ひょうたん」創刊号

すでにお気づきの方もいらっしゃると思いますが、公民館だより「ひょうたん」は先月1月号で記念すべき通算600号を達成いたしました。

振り返ってみますと、瓢箪町公民館の館報は昭和43年9月1日に創刊し、地域の皆様に行事の様子や地域の情報、歴史などをお伝えしてまいりました。

その後、昭和47年からは毎月発行することとし、即時性を重視しより早く皆様に情報をお届けするようになり、平成27年には500号を迎えました。そして今回600号を迎え本号から新たな道へと入りました。今後とも地域の皆様と公民館の架け橋として最新の情報をお伝えしていきたいと考えていますので、ご愛読の程宜しくお願いいたします。

尚、過去の館報につきましてはホームページでも見る事が出来ますので、お訪ねいただければ幸いです。

泉鏡花文学賞受賞作品を読んでもみませんか？

この度、金沢市より公民館へ地域の皆様には是非読んでいただきたいと、これまでの泉鏡花文学賞の受賞作品の中から、以下の作品が配布されました。貸し出し希望の方は公民館までおいでください。

また、公民館には金沢市立図書館より定期的に巡回図書も配置されていますので、こちらの方もご利用いただくことが出来ます。

昭和50年	甘い蜜の部屋	森 茉莉	ちくま文庫
昭和56年	虚人たち	筒井 康隆	中公文庫
平成 8年	アニマル・ロジック	山田 詠美	新潮文庫
平成 9年	喰う伊右衛門	京極 夏彦	中公文庫
平成21年	魚神	千早 茜	集英社文庫
平成24年	かなたの子	角田 光代	文春文庫
平成26年	妻が椎茸だったころ	中島 京子	講談社文庫
平成28年	大きな鳥にさらわれないよう	川上 弘美	講談社文庫
平成30年	飛ぶ孔雀	山尾 悠子	文春文庫



公民館行事予定

- ◆ 2月 4日(日) ラージボール卓球大会
- ◆ 2月 18日(日) 公民館フェア
- ◆ 2月 22日(木) ピラティス教室
- ◆ 3月 3日(日) 町会対抗ボウリング大会

児童館行事予定

- ★ 2月 3日(土) 節分豆まき
- ★ 2月 8日(木) あそびの城
新聞雪合戦 (明成小)
- ★ 2月 17日(土) 茶道クラブ



地域サロン「瓢箪」2月の行事

- ☆ 2月 14日(水) 健康体操
- ☆ 2月 28日(水) 聞善寺住職による法話

*各行事で撮影したスナップ写真は、公民館活動の一環として館内掲示、館報、その他SNS等に使用することがあります。あらかじめご了承ください。